

# 2018年度(平成30年度) 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 植物工場研究会

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業(部)名		事業内容	実施内容
企画	理事会		<p>【第1回】2019年3月15日 14:00~15:30</p> <p>定数 22 (定足数 11)</p> <p>出席数 20名 (うち委任状 6名)</p> <p>第1号議案 2018年度事業報告書(案)(総会付議事項)</p> <p>第2号議案 2018年度活動計算見直し</p> <p>第3号議案 2019年度事業計画書(案)(総会付議事項)</p> <p>第4号議案 2019年度活動計算方針</p> <p>第5号議案 2019年度 定期総会招集及び提出議案について</p> <p>以上の全議案について原案の通り承認された</p>
	総会		<p>【定期総会】2018年6月8日 13:30~14:45</p> <p>社員総数 188 (定足数 94)</p> <p>出席数 105名 (うち書面表決者 33名、表決委任者 44名)</p> <p>第1号議案 2017年度 事業報告書(案) 承認の件</p> <p>第2号議案 2017年度 活動計算書類(案) 承認の件、並びに監査報告</p> <p>第3号議案 2018年度 活動計画書(案) 承認の件</p> <p>第4号議案 2018年度 活動予算書(案) 承認の件</p> <p>第5号議案 新体制 定款の変更について</p> <p>第6号議案 監事の再任について</p> <p>以上の全議案について原案の通り承認された</p>
研究開発事業		<p>■農林水産省の平成 28 年度予算による「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」に応募し、採択され、平成 28 年度より事業を進めている。平成 30 年度は第 3 年度となり、本年度で事業が完了となる。</p> <p>■NEDOの平成29年度予算による委託事業「次世代人工知能・ロボット中核技術開発／次世代人工知能技術分野」(先導研究)に応募し、採択された。本事業は平成29年度下期から開始され、平成29年度末に中間評価があり、本年度の平成30年度で事業が完了となる。</p>	<p>「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」は岩谷産業(経済界代表)が総括代表者となり、(株)クレオ(農業界代表)、千葉大学、NPO 植物工場研究会の参加のもとに平成 28~30 年度の 3 年計画で実行している。「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」の平成 30 年度事業補助費は総額 9.8 百万円(内 NPO 植物工場研究会分は無し)で農業生産者の(株)クレオのみへの補助金給付となる。当会は千葉大学と協力し、実証作業等のサポートを行う。</p> <p>本事業は「統合型環境制御システム」を実際の農業生産者植物工場へ導入し、当該植物工場の収益を上げる事を目的とすると共に、「統合型環境制御システム」の普及・発展も目的としている。本年度はクレオ植物工場に平成 28 年度に設置した「統合型環境制御システム」を使用した実証栽培が中心とした事業を実施した。</p> <p>※なお、会計検査院からの立ち入り検査が 2019 年 1 月 24 日に実施され、何点かの疑義や質問が出された。現在は疑義に対する回答や資料を提出しており、最終的な検査結果を待っている。</p> <p>「次世代人工知能・ロボット中核技術開発／次世代人工知能技術分野」(先導研究)の研究テーマの一つである「次世代人工知能技術の社会実装に関するグローバル研究開発」に対して、「人工知能技術を用いた植物フェノミクスとその応用に関する先導研究」を提案・応募し、採択された。事業メンバーはNPO植物工場研究会、産業技術総合研究所、鹿島建設(株)、千葉大学、の4団体で構成されている。事業形態はNEDOからの委託研究となっている。第2年度の平成30年度事業予算総額110.0百万円(内、NPO分は35.7百万円)となっている。</p> <p>事業内容は園芸作物におけるフェノミクス(表現形)技術の基礎研究となっており、主に下記のテーマに取り組む。</p> <p>なお、平成29年度の事業監査で細かな質疑、指摘はあったが概ね問題なく完了した。</p> <p>①人工知能技術を用いた植物フェノミクスの研究</p> <p>①-1 植物フェノミクスセンシング基盤の研究(担当:NPO植物工場研究会(主担当)、産業技術総合研究所)</p> <p>①-2 人工知能を用いた植物フェノミクス解析技術の研究(担当:産業技術総合研究所(主担当)、千葉大学)</p>

	<p>■農林水産省の平成 30 年度予算による「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」に新たに応募し、採択され、平成 30 年度より事業を進めている。平成 30 年度は初年度となり、平成 32 年度で事業が完了となる。</p> <p>■農林水産省の平成 31 年度予算による「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に新たに応募し、採択結果を待っている、平成 31 年度より事業が開始され平成 32 年度で事業が完了となる。</p> <p>■その他</p> <p>■分科会 1)ヒートポンプ分科会</p> <p>■委員会 1) 養液コントローラー調査研究委員会</p> <p>2) 植物照明 LED 調査研究委員会</p> <p>3) スマート植物工場調査研究</p>	<p>②植物フェノミクスを応用した栽培システムの研究</p> <p>②-1 栽培モジュールに関する研究(担当:鹿島建設(株)(主担当)、産業技術総合研究所、NPO植物工場研究会)</p> <p>②-2人工知能を用いた栽培制御に関する研究(担当:産業技術総合研究所(主担当)、千葉大学、鹿島建設(株))</p> <p>「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」は(株)大仙(経済界代表)が総括代表者となり、農事組合法人大野水耕生産組合(農業界代表)、千葉大学、NPO 植物工場研究会の参加のもとに平成 30～32 年度の 3 年計画で実行している。「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」の平成 30 年度事業補助費は総額 37.3 百万円(内 NPO 植物工場研究会分は労務費が中心で 2.2 百万円)で 50%の補助金給付となる。当会は(株)大仙などへ協力し、実証作業等のサポートを行う。</p> <p>本事業はハウス内上部に存在する熱エネルギーを収集・蓄熱して、夜間の暖房の補助熱源として利用する効率的な暖房システムを構築する事により、重油、電気などの消費量を減らし、暖房コストの低減と温室効果ガスの排出削減を図ることを目的とする。本年度は実証器機の設置・立ち上げ、次年度へ向けた各種データの取得を実施した。</p> <p>「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」は NPO 植物工場研究会が代表機関となり、(株)エムティーアイ、(株)日新商事、農事組合法人成田ガイヤ、の 4 団体が構成され、イチゴ栽培における植物成長及び病虫害予測モデルに基づく環境把握・栽培管理・状態評価システムを用いたイチゴ営農体系の最適化等の実証を行い、社会実装を目指している。平成 31 年度の申請予算総額は 57.7 百万円(内 NPO 植物工場研究会は労務費が中心となり 4.3 百万円)となっている。採否の決定は 3 月中旬となる見通しで有り、採択されれば(株)エムティーアイが実証の中心となり進めてゆく事となる。</p> <p>FFAR をはじめとする国際プロジェクト開始に向けた準備を実施。</p> <p>・農業用ヒートポンプ研究 5 年前に各コンソーシアム共通課題として取り上げられた植物工場用ヒートポンプに関する研究は、関係分野の有識者による分科会活動とともに、各コンソーシアムの協力を得て、調査・研究を実施し 2018 年 5 月 23 日第 49 回をもって終了した。 ハウス用ヒートポンプの拡大・普及を図るためには、設備費の低減の他に、ヒートポンプの負荷特性を踏まえた利用・制御方法と温風吹き出しによる気温むら対策、将来的には農業用インバータの開発が求められることなどを指摘した。 以上の内容は「農業電化」誌 2018 年 5 月号に投稿し公表した。</p> <p>・2015 年 6 月 12 日発足 イオン別養液コントローラーの開発に関わる基本的事項の整理を行ない、その成果は、2018 年 3 月 14 日の植物工場勉強会で報告した以降、2018 年 4 月以降は、諸事情により、活動を休止している。2019 年度は活動再開を予定。</p> <p>・2015 年 10 月 5 日発足。人工光型植物工場における LED 照明に関する基本的事項を調査研究対象とする。LED 照明に関する用語整理を当面の業務とする。委員は、LED 関連メーカー企業、LED 植物工場企業、大学、研究所、および委員会が必要とした者で構成される。委員は、NPO 植物工場研究会関係者などには限定しない。2018 年 5 月 29 日、8 月 24 日、2019 年 1 月 18 日に開催。LED ランプの仕様と光の測定法に関する基準を提案し、前者を website で公開。活動は活発である。(委員構成別紙)</p> <p>・人工知能の応用に関する調査研究委員会。2017 年 5 月 9 日第 1 回委員会発足。</p>
--	---	---

	<p>委員会</p> <p>4) 生産性向上調査研究委員会</p>	<p>第2回8月1日、第3回11月2日。2018年1月10日に植物工場勉強会にて成果を報告。本委員会の活動がNEDOの事業採択に結び付いた。2018年7月31日、2019年2月14日に開催。活動は今年度で終了。次年度は異なるテーマおよび構成で新たに発足予定。(委員構成別紙)</p> <p>・生産性の定義とその利用に関する調査研究委員会。2017年5月9日発足・第1回委員会。第2回委員会は8月29日開催。第3回委員会は2018年1月30日開催。生産性の定義について議論し、その成果は2017年9月13日開催の第112回の植物工場研究会で報告された。調査研究委員会は2018年:第1回5月31日、第2回8月1日、第3回10月30日、第4回2019年1月30日に開催。生産性の定義と計算法に関する提案書の原稿をほぼ完成した。提案書は2019年度中に和文および英文で公表を予定。また、生産性に関するアンケートの実施も予定。活動は活発。(委員構成別紙)</p>
--	-----------------------------------	---

事業(部)名	事業内容	実施内容
企画・国際部	<p>■英語での講義・見学案内</p>	<p>英語の講義・見学案内:講義付き見学の定期開催の開始。諸外国政府・企業・組織との団体・個別ディスカッション及び見学案内。諸外国の状況を把握するためアンケート調査も実施</p>
	<p>■海外向け広報</p>	<p>◆海外メディアの取材対応及び記事配信、海外政府・企業・機関対応など。NPO 植物工場研究会や調査研究委員会の成果も英語記事で公表  ◆米国のサイエンス番組“Bill Nye Save the World”にて活動紹介の放映  ◆海外カンファレンスでの講演(マレーシア、中国(上海など)、アメリカ(ニューヨーク)、シンガポールなど)  ◆ソーシャルメディアによる英語情報発信(会員企業の紹介、イベント案内・報告、ニュースなど)英語の研修および講義付き見学案内、ニュース&amp;イベント、映像で見る植物工場、見学案内、勉強会、千葉大学との共催の研修、NPO の研修、植物工場に関する本の紹介などを HP にて紹介  ◆ホームページ改定の企画・検討</p>
	<p>■英語での人工光型植物工場の初級研修</p>	<p>2018年10月1日～5日初級研修“Five-day Introductory Training Course on Plant Factory with Artificial Lighting (PFAL)”を開催。  千葉大学・NPO 植物工場研究会・関連企業の講師による植物工場における理論と実践・事業に関する講義と植物工場の見学会を実施。世界約15か国(米国、カナダ、メキシコ、チリ、シンガポール、インド、タイ、台湾、韓国、ロシア、トルコ、オランダ、ドイツなど)から約50名が参加。参加者からのアンケート集計データまとめは、NPO の今後の企画の参考となるため、分析結果を参考に次年度以降の計画を企画。  次回開催への問い合わせが多く、グーグルフォームへの登録を開始。</p>
	<p>■経済産業省関東経済産業局「地域中核企業創出・支援事業」</p>	<p>経済産業省の委託事業の実施:平成30年度地域中核企業創出・支援事業(ハンズオン型)スマート植物工場の技術強化及びグローバル展開支援事業  (事業予算総額約4.2百万円。国内外のニーズ・シーズ調査・分析をベースに、中核企業の自動化・ロボット技術や人工知能技術を活用したスマート植物工場の大規模展開に向け、中核企業の技術開発支援、ならびにスマート植物工場次世代事業戦略の策定と国際事業の展開支援を実施</p>
	<p>■展示会業務</p> <p>■コンサルティング事業</p>	<p>◆国内外展示会への国内外企業出展促進業務(展示会主催者とのパートナーシップ:5月イタリア Seed &amp; Chips、6月米国ニューヨーク The Indoor AgTech Innovation Summit、11月東京アグロ・イノベーション 2018、11月上海 HotriChina、11月シンガポール Rethink Agri Food Innovation Week、1月シンガポール IndoorAgConAsia)  ◆海外展示会への出展・NPO 植物工場研究会ブースにて会員企業と共同出展・日本企業のプレゼンテーション枠交渉(11月上海 HotriChina、11月シンガポール Rethink Agri Food Innovation Week、1月シンガポール IndoorAgCon)  ◆展示会にての講演、プレゼンテーション  これにより会員へのベネフィット枠の獲得、企業・研究機関ほかとのネットワークへの効果大。講演後の顧客フォローの体制ができていないことが課題(ひとつの解決としてのホームページリニューアル)</p> <p>海外プロジェクトへの参画・支援、国内企業の海外展開促進・国際連携に向けた活動</p>
	<p>■海外研修生</p>	<p>千葉大学と共同で、2018年5月カセサート大学(タイ)の学生を受け入れ。企業、学生、起業希望者からのインターンシップ要請多数。</p>
	<p>■支援事業</p>	<p>国内外ビジター対応(ビジネスマッチング、コンサル要請対応、国内・海外市場視察アレンジメント、研修プログラム要請多数、その他)に伴う、NPO での会議+見学対応</p>

	■その他	◆国内向け海外情報の発信:電子媒体による配信、各種講演会での講演など ◆海外会員の誘致による新規入会 ◆海外企業と国内会員企業のマッチング ◆NPO 植物工場研究会企画・国際部ニュースの配信 Seed & Chips のご案内/米国ニューヨーク The Indoor AgTech Innovation Summit 特別料金のご案内/アグロ・イノベーション 2018:特別出展料金のご案内/国際展示会 HORTI CHINA2018 のご案内/CHINA GREEN WEEK のご案内/ Rethink Agri Food Innovation Week 特別料金のご案内/IndoorAgConAsia 特別料金のご案内など ◆研究および普及活動に関する国際連携の企画・検討
--	------	---

事業(部)名	事業内容	実施内容																																																																																																											
支援事業	<p>■拠点事業として施設管理・保守および運営管理の支援業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備</li> <li>・共有施設の維持管理</li> <li>・共有施設の運用調整</li> <li>・棟別の月次の消費電力の实地検針</li> </ul>																																																																																																											
	<p>■植物工場見学者受入 見学のみコース 講義付見学コース</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">参加者数</th> <th colspan="3">NPO 窓口</th> <th rowspan="2">コンソ扱い</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>見学のみ</th> <th>講義付</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年6月～3月 4,172人(NPO 窓口) 855人(コンソ扱い) ◆2011年度計 5,027人</td> <td>4月</td> <td>100人</td> <td>61人</td> <td>161人</td> <td>0人</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>2012年4月～3月 5,878人(NPO 窓口) 555人(コンソ扱い) ◆2012年度計 6,433人</td> <td>5月</td> <td>252人</td> <td>34人</td> <td>286人</td> <td>18人</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>2013年4月～3月 4,787人(NPO 窓口) 629人(コンソ扱い) ◆2013年度計 5,416人</td> <td>6月</td> <td>217人</td> <td>247人</td> <td>464人</td> <td>11人</td> <td>475人</td> </tr> <tr> <td>2014年4月～3月 4,898人(NPO 窓口) 350人(コンソ扱い) ◆2014年度計 5,248人</td> <td>7月</td> <td>350人</td> <td>177人</td> <td>527人</td> <td>5人</td> <td>532人</td> </tr> <tr> <td>2015年4月～3月 3,918人(NPO 窓口) 180人(コンソ扱い) ◆2015年度計 4,098人</td> <td>8月</td> <td>162人</td> <td>57人</td> <td>219人</td> <td>0人</td> <td>219人</td> </tr> <tr> <td>2016年4月～3月 4,167人(NPO 窓口) 766人(コンソ扱い) ◆2016年度計 4,933人</td> <td>9月</td> <td>213人</td> <td>63人</td> <td>276人</td> <td>6人</td> <td>282人</td> </tr> <tr> <td>2017年4月～3月 4,527人(NPO 窓口) 535人(コンソ扱い) ◆2017年度計 5,062人</td> <td>10月</td> <td>546人</td> <td>93人</td> <td>639人</td> <td>0人</td> <td>639人</td> </tr> <tr> <td>2018年4月～3月 4,466人(NPO 窓口) 134人(コンソ扱い) ◆2018年度計 4,600人</td> <td>11月</td> <td>452人</td> <td>165人</td> <td>617人</td> <td>16人</td> <td>633人</td> </tr> <tr> <td>2011年度～2018年度計 40,817人</td> <td>12月</td> <td>235人</td> <td>152人</td> <td>387人</td> <td>4人</td> <td>391人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1月</td> <td>144人</td> <td>31人</td> <td>175人</td> <td>12人</td> <td>187人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月</td> <td>327人</td> <td>84人</td> <td>411人</td> <td>13人</td> <td>424人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月</td> <td>183人</td> <td>121人</td> <td>304人</td> <td>49人</td> <td>353人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>3,181人</td> <td>1,285人</td> <td>4,466人</td> <td>134人</td> <td>4,600人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>265人</td> <td>107人</td> <td>372人</td> <td>11人</td> <td>383人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2019.3.31 現在</p>	参加者数	NPO 窓口			コンソ扱い	合計	見学のみ	講義付	小計	2011年6月～3月 4,172人(NPO 窓口) 855人(コンソ扱い) ◆2011年度計 5,027人	4月	100人	61人	161人	0人	161人	2012年4月～3月 5,878人(NPO 窓口) 555人(コンソ扱い) ◆2012年度計 6,433人	5月	252人	34人	286人	18人	304人	2013年4月～3月 4,787人(NPO 窓口) 629人(コンソ扱い) ◆2013年度計 5,416人	6月	217人	247人	464人	11人	475人	2014年4月～3月 4,898人(NPO 窓口) 350人(コンソ扱い) ◆2014年度計 5,248人	7月	350人	177人	527人	5人	532人	2015年4月～3月 3,918人(NPO 窓口) 180人(コンソ扱い) ◆2015年度計 4,098人	8月	162人	57人	219人	0人	219人	2016年4月～3月 4,167人(NPO 窓口) 766人(コンソ扱い) ◆2016年度計 4,933人	9月	213人	63人	276人	6人	282人	2017年4月～3月 4,527人(NPO 窓口) 535人(コンソ扱い) ◆2017年度計 5,062人	10月	546人	93人	639人	0人	639人	2018年4月～3月 4,466人(NPO 窓口) 134人(コンソ扱い) ◆2018年度計 4,600人	11月	452人	165人	617人	16人	633人	2011年度～2018年度計 40,817人	12月	235人	152人	387人	4人	391人		1月	144人	31人	175人	12人	187人		2月	327人	84人	411人	13人	424人		3月	183人	121人	304人	49人	353人		計	3,181人	1,285人	4,466人	134人	4,600人		平均	265人	107人	372人	11人	383人
	参加者数	NPO 窓口			コンソ扱い	合計																																																																																																							
		見学のみ	講義付	小計																																																																																																									
	2011年6月～3月 4,172人(NPO 窓口) 855人(コンソ扱い) ◆2011年度計 5,027人	4月	100人	61人	161人	0人	161人																																																																																																						
	2012年4月～3月 5,878人(NPO 窓口) 555人(コンソ扱い) ◆2012年度計 6,433人	5月	252人	34人	286人	18人	304人																																																																																																						
	2013年4月～3月 4,787人(NPO 窓口) 629人(コンソ扱い) ◆2013年度計 5,416人	6月	217人	247人	464人	11人	475人																																																																																																						
	2014年4月～3月 4,898人(NPO 窓口) 350人(コンソ扱い) ◆2014年度計 5,248人	7月	350人	177人	527人	5人	532人																																																																																																						
	2015年4月～3月 3,918人(NPO 窓口) 180人(コンソ扱い) ◆2015年度計 4,098人	8月	162人	57人	219人	0人	219人																																																																																																						
	2016年4月～3月 4,167人(NPO 窓口) 766人(コンソ扱い) ◆2016年度計 4,933人	9月	213人	63人	276人	6人	282人																																																																																																						
2017年4月～3月 4,527人(NPO 窓口) 535人(コンソ扱い) ◆2017年度計 5,062人	10月	546人	93人	639人	0人	639人																																																																																																							
2018年4月～3月 4,466人(NPO 窓口) 134人(コンソ扱い) ◆2018年度計 4,600人	11月	452人	165人	617人	16人	633人																																																																																																							
2011年度～2018年度計 40,817人	12月	235人	152人	387人	4人	391人																																																																																																							
	1月	144人	31人	175人	12人	187人																																																																																																							
	2月	327人	84人	411人	13人	424人																																																																																																							
	3月	183人	121人	304人	49人	353人																																																																																																							
	計	3,181人	1,285人	4,466人	134人	4,600人																																																																																																							
	平均	265人	107人	372人	11人	383人																																																																																																							
	<p>2018年度海外からの見学受入: 外国人合計 1,781人(見学 1,368人/講義付き 413人)</p>																																																																																																												
	<p>■コンサルティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本企業海外展開のためのコンサルティング(1件)、日本技術の海外への導入のためのコンサルティング(1件)、養液管理に関するコンサルティング(1件)</li> </ul>																																																																																																												
	<p>■連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人日本植物工場産業協会との連携</li> <li>・日本型施設園芸産業革新化ネットワークとの連携</li> <li>・LED農業への活用技術 中国農業大学との連携</li> </ul>																																																																																																												

事業(部)名	事業内容	実施内容																																																																																										
広報普及・ 人材育成 事業	■展示会への出展 植物工場の普及・ 啓蒙のため、展示パ ネルの設置、プレゼ ン・デモモデルの実 施、パンフレット配布 を行った	<p>・『GPEC2018』への出展 会期:7/11(水)～7/13(金)、会場:東京ビッグサイト 主催:一般社団法人日本施設園芸協会 併設展示と合わせて約4万名の見学者があった。</p> <p>・『アグロ・イノベーション2018』への出展 会期:11/20(火)～11/22(木)、会場:東京ビッグサイト 主催:一般社団法人日本能率協会 併設展示と合わせて約2.9万人の見学者があった。</p>																																																																																										
	■定例勉強会の開 催	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>NPO 会員</th> <th>一般</th> <th>学生</th> <th>計</th> <th>情報 交換会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第119回イチゴ栽培に関する最新 情報</td> <td>4/11</td> <td>61人</td> <td>58人</td> <td>4人</td> <td>123人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第120回植物工場生産品のブラン ド化</td> <td>5/23</td> <td>39人</td> <td>17人</td> <td>0人</td> <td>56人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第121回植物工場経営におけるコ ンサルタントの必要性</td> <td>6/20</td> <td>26人</td> <td>25人</td> <td>2人</td> <td>53人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第122回海外における人工光型植 物工場の最新動向</td> <td>7/18</td> <td>41人</td> <td>32人</td> <td>3人</td> <td>76人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第123回太陽光型植物工場にお けるCO2施用の現状と課題</td> <td>9/12</td> <td>32人</td> <td>21人</td> <td>1人</td> <td>54人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第124回太陽光型植物工場にお ける補光技術と効果</td> <td>10/10</td> <td>41人</td> <td>27人</td> <td>1人</td> <td>69人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第125回最新の人工光型植物工 場の特徴と生産性</td> <td>11/14</td> <td>68人</td> <td>30人</td> <td>8人</td> <td>106人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第126回大型植物工場に企業や 異業種から参入する理由を考える</td> <td>12/12</td> <td>42人</td> <td>18人</td> <td>1人</td> <td>61人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第127回大型人工光型植物工場 最近の動向と課題</td> <td>1/23</td> <td>44人</td> <td>24人</td> <td>2人</td> <td>70人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第128回コピキタ環境制御</td> <td>2/13</td> <td>31人</td> <td>9人</td> <td>1人</td> <td>41人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第129回勉強会参加者10,000名 達成記念!見えてきた次世代人 工光型植物工場</td> <td>3/13</td> <td>78人</td> <td>43人</td> <td>4人</td> <td>125人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>503人</td> <td>304人</td> <td>27人</td> <td>834人</td> <td>57人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2019.3.31 現在</p>	回数	開催日	NPO 会員	一般	学生	計	情報 交換会	第119回イチゴ栽培に関する最新 情報	4/11	61人	58人	4人	123人	-	第120回植物工場生産品のブラン ド化	5/23	39人	17人	0人	56人	-	第121回植物工場経営におけるコ ンサルタントの必要性	6/20	26人	25人	2人	53人	-	第122回海外における人工光型植 物工場の最新動向	7/18	41人	32人	3人	76人	-	第123回太陽光型植物工場にお けるCO2施用の現状と課題	9/12	32人	21人	1人	54人	-	第124回太陽光型植物工場にお ける補光技術と効果	10/10	41人	27人	1人	69人	-	第125回最新の人工光型植物工 場の特徴と生産性	11/14	68人	30人	8人	106人	-	第126回大型植物工場に企業や 異業種から参入する理由を考える	12/12	42人	18人	1人	61人	-	第127回大型人工光型植物工場 最近の動向と課題	1/23	44人	24人	2人	70人	-	第128回コピキタ環境制御	2/13	31人	9人	1人	41人	-	第129回勉強会参加者10,000名 達成記念!見えてきた次世代人 工光型植物工場	3/13	78人	43人	4人	125人	57人	計		503人	304人	27人	834人
回数	開催日	NPO 会員	一般	学生	計	情報 交換会																																																																																						
第119回イチゴ栽培に関する最新 情報	4/11	61人	58人	4人	123人	-																																																																																						
第120回植物工場生産品のブラン ド化	5/23	39人	17人	0人	56人	-																																																																																						
第121回植物工場経営におけるコ ンサルタントの必要性	6/20	26人	25人	2人	53人	-																																																																																						
第122回海外における人工光型植 物工場の最新動向	7/18	41人	32人	3人	76人	-																																																																																						
第123回太陽光型植物工場にお けるCO2施用の現状と課題	9/12	32人	21人	1人	54人	-																																																																																						
第124回太陽光型植物工場にお ける補光技術と効果	10/10	41人	27人	1人	69人	-																																																																																						
第125回最新の人工光型植物工 場の特徴と生産性	11/14	68人	30人	8人	106人	-																																																																																						
第126回大型植物工場に企業や 異業種から参入する理由を考える	12/12	42人	18人	1人	61人	-																																																																																						
第127回大型人工光型植物工場 最近の動向と課題	1/23	44人	24人	2人	70人	-																																																																																						
第128回コピキタ環境制御	2/13	31人	9人	1人	41人	-																																																																																						
第129回勉強会参加者10,000名 達成記念!見えてきた次世代人 工光型植物工場	3/13	78人	43人	4人	125人	57人																																																																																						
計		503人	304人	27人	834人	57人																																																																																						

事業(部)名	事業内容	実施内容				
広報普及・人材育成事業	■研修会の開催(千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催で実施、NPO 植物工場研究会主催で実施)		講座名	主催・農水事業	日時	人数
		1	人工光型植物工場を知っておくべきことのすべて	NPO 主催	6/5(火)-6/7(木)	23 人
		2	これだけは身につけておきたい培養液管理法	農水事業	7/2(月)-7/4(水)	25 人
		3	企業的経営のノウハウを学ぶ	農水事業	7/24(火)-7/26(木)	15 人
		4	太陽光型植物工場を知っておくべきことのすべて	NPO 主催	8/7(火)-8/9(木)	21 人
		5	光合成産物の動態とそれに基づく環境制御	NPO 主催	8/21(火)-8/22(水)	18 人
		6	あなたの栽培現場における最適培養液管理を共に作り上げます【培地なし】	NPO 主催	スクーリング ①9/2(日)出張 ②12/26(水) ③3/7(木)	1 人
		7	指導者養成講座【環境制御編】	NPO 主催	9/13(木)-9/14(金)	22 人
		8	太陽光型植物工場での栽培と環境制御の実技と理論を学ぶ(全3回)	農水事業	① 9/19(水)-9/21(金) ② 10/24(水)-10/26(金) ③ 11/28(水)-11/30(金)	6 人
		9	指導者養成講座【培養液編】事前講習会	NPO 主催	11/11(日)	9 人
		10	指導者養成講座【培養液編】	NPO 主催	11/12(月)-11/13(火)	21 人
		11	人工光型植物工場経営に必要なノウハウの押さえどころ	NPO 主催	12/4(火)-12/5(水)	20 人
		12	人工光型植物工場経営(運営)者から生の話を聞く	NPO 主催	12/6(木)	29 人
		13	指導者養成講座【病害虫対策編】	農水事業	12/18(火)-12/19(水)	29 人
		14	人工光型植物工場での栽培と環境制御の実技と理論を学ぶ(全2回)	農水事業	①1/16(水)-1/18(金) ②2/6(水)-2/8(金)	10 人
		15	植物生産は植物を知ることから	NPO 主催	1/29(火)	33 人
		16	環境制御における原理と考え方	NPO 主催	1/30(水)	35 人
		17	個別培養液フォローアップ研修	NPO 主催	随時	3 人
		合計			323 人	

2019.1.31 現在

農水事業:千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催

事業(部)名	事業内容	実施内容																																																																									
広報普及・ 人材育成 事業	■ 広報としてのマ スコミ対応	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="517 125 643 197">取材日</th> <th data-bbox="647 125 758 197">掲載日 放映日</th> <th data-bbox="762 125 852 197">媒体</th> <th data-bbox="857 125 1059 197">媒体名</th> <th data-bbox="1064 125 1552 197">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5月</td> <td>ウェブ</td> <td>(株)大仙 営業事業部通信</td> <td>環境に優しい近未来型ハウス空調方式の実用 研究について(関山理事)～No1～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月</td> <td>TV (Netfli x)</td> <td>米国のTV番組 “Bill Nye Save the World”ビル・ナイが 世界を救う</td> <td>米国のサイエンス番組にて、Karlie Kloss が千 葉大学柏の葉キャンパス内の太陽光型植物工 場と人工光型植物工場を視察、古在会長お よび林副理事長を取材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月</td> <td>ウェブ</td> <td>(株)大仙 営業事業部通信</td> <td>環境に優しい近未来型ハウス空調方式の実用 研究について(関山理事)～No2～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6/2</td> <td>ウェブ</td> <td>IEEE Spectrum</td> <td>“The Green Promise of Vertical Farms”植物 工場に関して古在会長および林副理事長が取 材対応</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6/14</td> <td>ウェブ</td> <td>AG Funder News</td> <td>“Japan’s Indoor Ag Sector is Becoming More Collaborative” 植物工場研究会の組 織概要・研究開発・普及活動内容および国内 外市場などに関する記事(林副理事長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7/18</td> <td>ウェブ</td> <td>Urban Ag News</td> <td>英語の人工光型植物工場初級研修 Five-day Introductory Training Course on Plant Factory with Artificial Lighting (PFAL) (2018年10月1日～5日開催)に関する記事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9/12</td> <td>9/17</td> <td>新聞</td> <td>農経しんぼう</td> <td>第123回勉強会について(太陽光型植物工場 におけるCO2施用の現状と課題)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>10/9</td> <td>ウェブ</td> <td>プレスリリース</td> <td>古在会長がタイのマヒドン大学から名誉学位を 授与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11/8</td> <td>12/20</td> <td>地方 紙</td> <td>朝日れすか</td> <td>見学参加する団体へ同行取材し、植物工場 を掲載したい 発行場所: 東葛6市、船橋、習志野両市で計 15万部発行</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9/20</td> <td>11/23</td> <td>雑誌</td> <td>週刊朝日</td> <td>植物工場の最前線特集の為、インタビュー依 頼有 10年ほど前に大きな注目を浴びた植物工場 は、その後赤字や倒産で企業撤退が多く見ら れたこの動きが現在どうなっているのか、問題 解決に向けた努力や今後の展望についてインテ ビューの依頼。山口理事長、丸尾副理事長対 応。加えて、日本の植物工場2社を紹介し掲 載された。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2019年 2月上旬</td> <td>ウェブ</td> <td>The Scientific News 社 他</td> <td>人工光型植物工場と古在会長に関する記事 が、世界の500を超えるサイトにより配信</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1/9</td> <td>2019年 4月予 定</td> <td>冊子</td> <td>千葉県教育旅行 パンフレット(英語 版・繁体字版)</td> <td>千葉県内の学校交流・ホームステイの事例や、 見学・体験ができる県内施設情報を掲載し、 国内外の教育関係者、旅行代理店に配布す る</td> </tr> </tbody> </table>	取材日	掲載日 放映日	媒体	媒体名	内容		5月	ウェブ	(株)大仙 営業事業部通信	環境に優しい近未来型ハウス空調方式の実用 研究について(関山理事)～No1～		5月	TV (Netfli x)	米国のTV番組 “Bill Nye Save the World”ビル・ナイが 世界を救う	米国のサイエンス番組にて、Karlie Kloss が千 葉大学柏の葉キャンパス内の太陽光型植物工 場と人工光型植物工場を視察、古在会長お よび林副理事長を取材		6月	ウェブ	(株)大仙 営業事業部通信	環境に優しい近未来型ハウス空調方式の実用 研究について(関山理事)～No2～		6/2	ウェブ	IEEE Spectrum	“The Green Promise of Vertical Farms”植物 工場に関して古在会長および林副理事長が取 材対応		6/14	ウェブ	AG Funder News	“Japan’s Indoor Ag Sector is Becoming More Collaborative” 植物工場研究会の組 織概要・研究開発・普及活動内容および国内 外市場などに関する記事(林副理事長)		7/18	ウェブ	Urban Ag News	英語の人工光型植物工場初級研修 Five-day Introductory Training Course on Plant Factory with Artificial Lighting (PFAL) (2018年10月1日～5日開催)に関する記事		9/12	9/17	新聞	農経しんぼう	第123回勉強会について(太陽光型植物工場 におけるCO2施用の現状と課題)			10/9	ウェブ	プレスリリース	古在会長がタイのマヒドン大学から名誉学位を 授与		11/8	12/20	地方 紙	朝日れすか	見学参加する団体へ同行取材し、植物工場 を掲載したい 発行場所: 東葛6市、船橋、習志野両市で計 15万部発行		9/20	11/23	雑誌	週刊朝日	植物工場の最前線特集の為、インタビュー依 頼有 10年ほど前に大きな注目を浴びた植物工場 は、その後赤字や倒産で企業撤退が多く見ら れたこの動きが現在どうなっているのか、問題 解決に向けた努力や今後の展望についてインテ ビューの依頼。山口理事長、丸尾副理事長対 応。加えて、日本の植物工場2社を紹介し掲 載された。			2019年 2月上旬	ウェブ	The Scientific News 社 他	人工光型植物工場と古在会長に関する記事 が、世界の500を超えるサイトにより配信			1/9	2019年 4月予 定	冊子	千葉県教育旅行 パンフレット(英語 版・繁体字版)	千葉県内の学校交流・ホームステイの事例や、 見学・体験ができる県内施設情報を掲載し、 国内外の教育関係者、旅行代理店に配布す る	2019.1.31 現在
取材日	掲載日 放映日	媒体	媒体名	内容																																																																							
	5月	ウェブ	(株)大仙 営業事業部通信	環境に優しい近未来型ハウス空調方式の実用 研究について(関山理事)～No1～																																																																							
	5月	TV (Netfli x)	米国のTV番組 “Bill Nye Save the World”ビル・ナイが 世界を救う	米国のサイエンス番組にて、Karlie Kloss が千 葉大学柏の葉キャンパス内の太陽光型植物工 場と人工光型植物工場を視察、古在会長お よび林副理事長を取材																																																																							
	6月	ウェブ	(株)大仙 営業事業部通信	環境に優しい近未来型ハウス空調方式の実用 研究について(関山理事)～No2～																																																																							
	6/2	ウェブ	IEEE Spectrum	“The Green Promise of Vertical Farms”植物 工場に関して古在会長および林副理事長が取 材対応																																																																							
	6/14	ウェブ	AG Funder News	“Japan’s Indoor Ag Sector is Becoming More Collaborative” 植物工場研究会の組 織概要・研究開発・普及活動内容および国内 外市場などに関する記事(林副理事長)																																																																							
	7/18	ウェブ	Urban Ag News	英語の人工光型植物工場初級研修 Five-day Introductory Training Course on Plant Factory with Artificial Lighting (PFAL) (2018年10月1日～5日開催)に関する記事																																																																							
	9/12	9/17	新聞	農経しんぼう	第123回勉強会について(太陽光型植物工場 におけるCO2施用の現状と課題)																																																																						
		10/9	ウェブ	プレスリリース	古在会長がタイのマヒドン大学から名誉学位を 授与																																																																						
	11/8	12/20	地方 紙	朝日れすか	見学参加する団体へ同行取材し、植物工場 を掲載したい 発行場所: 東葛6市、船橋、習志野両市で計 15万部発行																																																																						
	9/20	11/23	雑誌	週刊朝日	植物工場の最前線特集の為、インタビュー依 頼有 10年ほど前に大きな注目を浴びた植物工場 は、その後赤字や倒産で企業撤退が多く見ら れたこの動きが現在どうなっているのか、問題 解決に向けた努力や今後の展望についてインテ ビューの依頼。山口理事長、丸尾副理事長対 応。加えて、日本の植物工場2社を紹介し掲 載された。																																																																						
		2019年 2月上旬	ウェブ	The Scientific News 社 他	人工光型植物工場と古在会長に関する記事 が、世界の500を超えるサイトにより配信																																																																						
		1/9	2019年 4月予 定	冊子	千葉県教育旅行 パンフレット(英語 版・繁体字版)	千葉県内の学校交流・ホームステイの事例や、 見学・体験ができる県内施設情報を掲載し、 国内外の教育関係者、旅行代理店に配布す る																																																																					
	■ その他	・東京オリンピック植物工場プロジェクトの継続(担当:企画・国際部)  ■NPO 植物工場 研究会ニュース配 信 ・No.84 .....植物工場生産物に対する消費者のアンケート調査ご紹介 ・No.85 .....2018 生態工学会年次大会のお知らせ ・No.86 .....日本生物環境工学会関東支部講演会のお知らせ ・No.87 .....人工光型植物工場におけるイチゴ栽培の共同研究について ・No.88 .....日本農業新聞 掲載記事のご紹介(ヒートポンプの効果的な活用など) ・No.89 .....古在会長がマヒドン大学名誉学位を授与されました ・No.90 .....日本生物環境工学会主催 第29回 SHITA シンポジウム																																																																									